

# 田原本町地域公共交通総合連携計画(案)

平成22年3月

奈良県 田原本町

## 1. 計画の基本的方針

田原本町の公共交通は、鉄道事業者については近畿日本鉄道㈱、バス事業者については奈良交通㈱がその役目を担っているが、平成16年4月には、路線バスの田原本為川線及び桜井百済線が休止となり、近鉄西田原本駅と国保中央病院を往復する1路線のみの運行となっている。また、同路線においても利用者数の減少及び補助の増大が問題となっている。

バスの運行休止等により田原本町では駅周辺以外の多くの地域が公共交通不便地域にあたり、これら地域では日常の交通手段は自家用自動車を中心となっている。多くの高齢者は日々の生活において家族による送迎に頼らざるを得ない状況にあり、買い物や通院に不便を来している。また、まちの構造も自動車に対応したものとなり、商業施設等は自動車を利用しやすい郊外の国道沿いの立地されるようになり、結果として、昔ながらの商店が立ち並ぶ田原本駅周辺の中心市街地では来訪者が減少し、さらに地区住民の高齢化も相まって活力が低下している。一方で、田原本駅西口では平成22年3月に駅前広場が新しく整備されることから、これを契機に駅周辺地域のアクセス利便性の向上と地域の再生が期待されている。

こうした背景を踏まえ、「田原本町地域公共交通総合連携計画」では方針に従い、地域住民・交通事業者・行政等が一体となって推進を行う。

- 高齢者等の買い物・通院といった日常生活の外出支援（移動手段の確保）
- 公共交通と連携した、まちづくりによる地域活性化

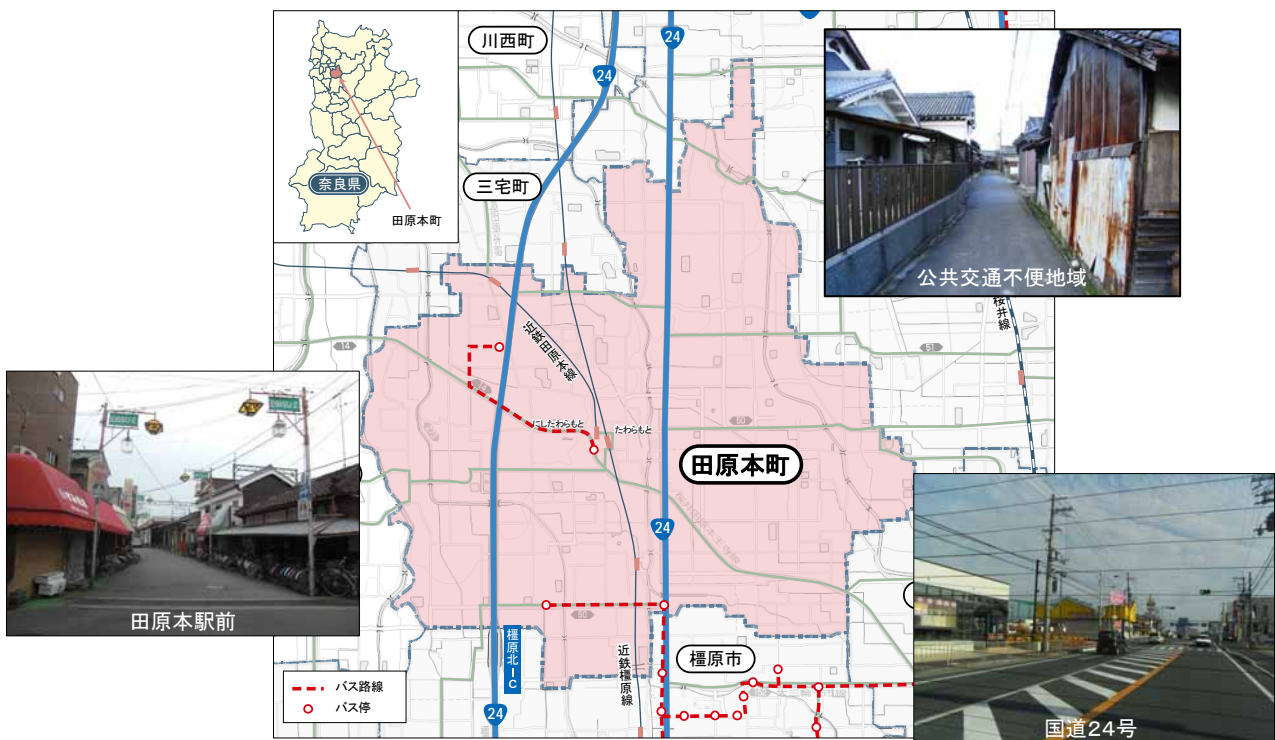


図 田原本町の公共交通網

■公共交通の休止・利用者の減少および自動車交通中心の交通体系

近鉄線を除くと、公共交通は国保中央病院線への路線バスのみ。しかし、利用者は減少の一途。

	往復 (便/日)	平均乗車人数(人/日)		
		H13	H14	H18
田原本為川線	4	5.9	3.6	H16廃止
桜井百済線	18	31.5	20.7	H16廃止
国保中央病院線	52	91.8	62.6	40

※ 国保中央病院線は平成 21 年現在往復 36 便/日運行

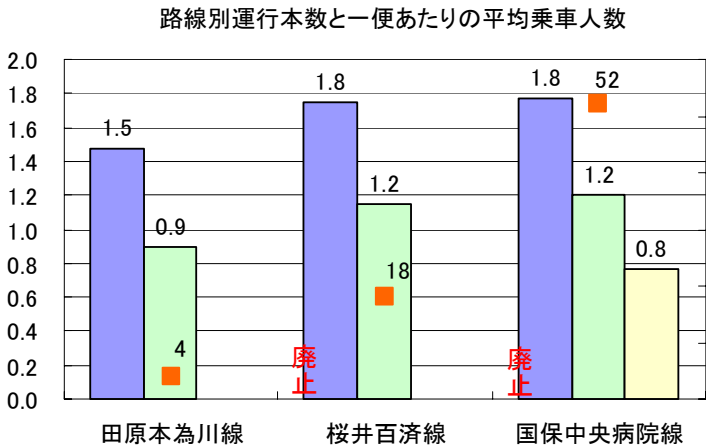
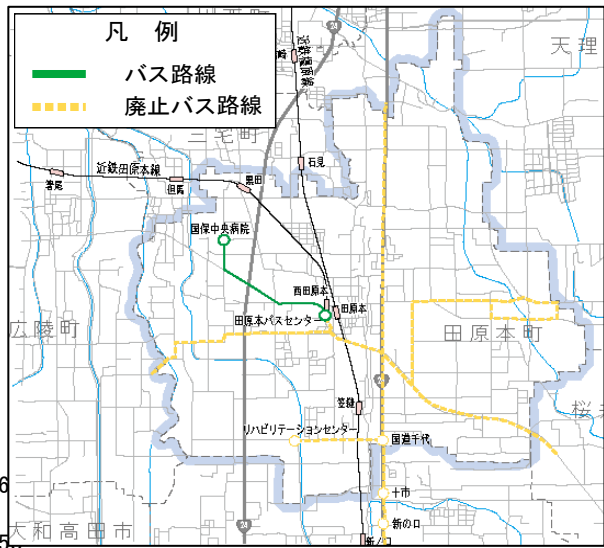
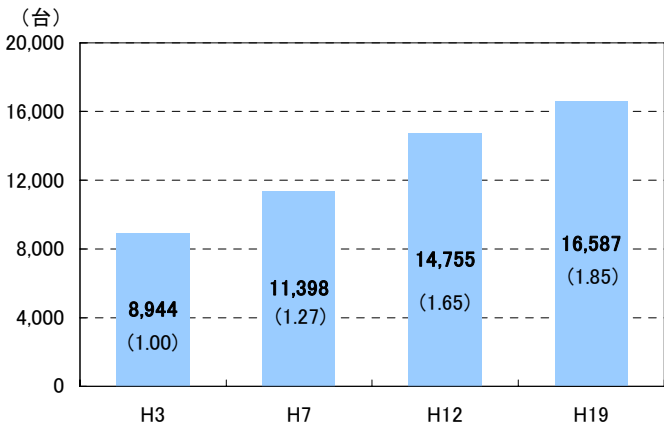


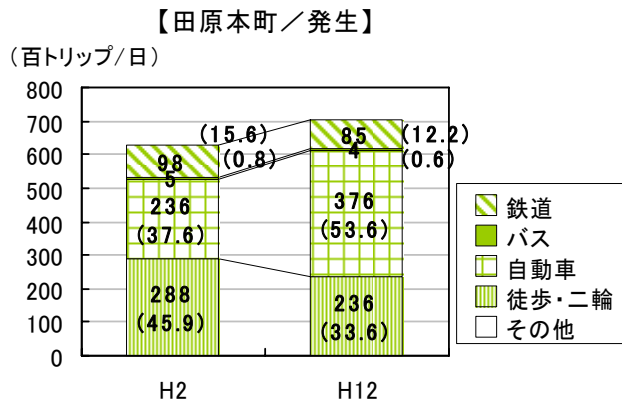
図 田原本町の路線バスの整備状況および利用状況

自動車保有台数と自動車分担率が大きく増加。マイカー依存度が高い交通体系。



( ) は H3 を基準とした伸び率  
※自動車検査登録協会「市町村別自動車保有車両数」より

図 田原本町の自動車保有台数の推移



※京阪神圏パーソントリップ調査結果より

図 交通手段別の発生交通量の推移

## 2. 計画区域

田原本町地域公共交通総合連携計画の対象区域は田原本町全域とする。

## 3. 計画目標

自家用車に頼らない移動手段の確保と地域の活性化が課題となっていることから、新たに持続可能な公共交通を導入し、高齢者等の移動手段を確保するとともに、外出機会の増大を目指す。併せて、既存公共交通との連携により来訪者の巡りやすさ向上を図ることにより交流促進を目指す。

さらには、これらの取組みをはじめ、公共交通と地域に関する情報提供を積極的に実施することにより、地域全体が公共交通を通じて「まちづくりのあり方」を考えるきっかけづくりを進める。

将来的には、田原本町を取り巻く交通状況の変化や施策に対する住民ニーズに応じつつ、まちづくりや観光振興面との連携を図りながら、「総合連携計画」の改善を実施していく。

(重点的に取り組む事業)

- ① デマンドタクシーの導入
- ② 観光地巡りを支援する交通サービスの導入
- ③ 国保中央病院線の輸送効率化
- ④ 公共交通利用促進に向けた情報提供・PRの実施

駅まで家族に送ってもらおうが、82歳になるので心配。(80歳以上・女性)

今のところ自分で運転できるが運悪く出来なくなったら、タクシーに頼らなくてはと思っている。(70歳代・男性)

町民の声

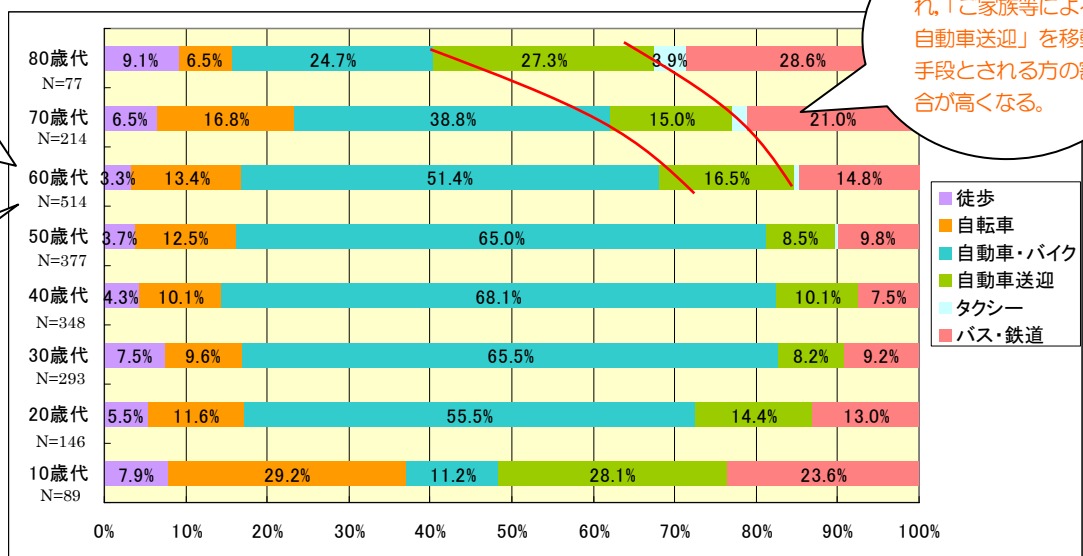
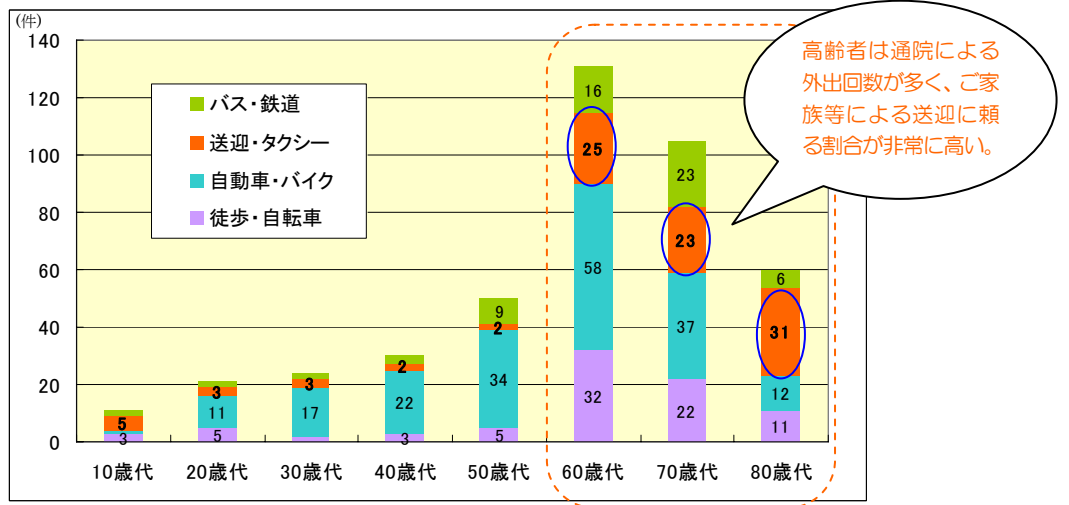
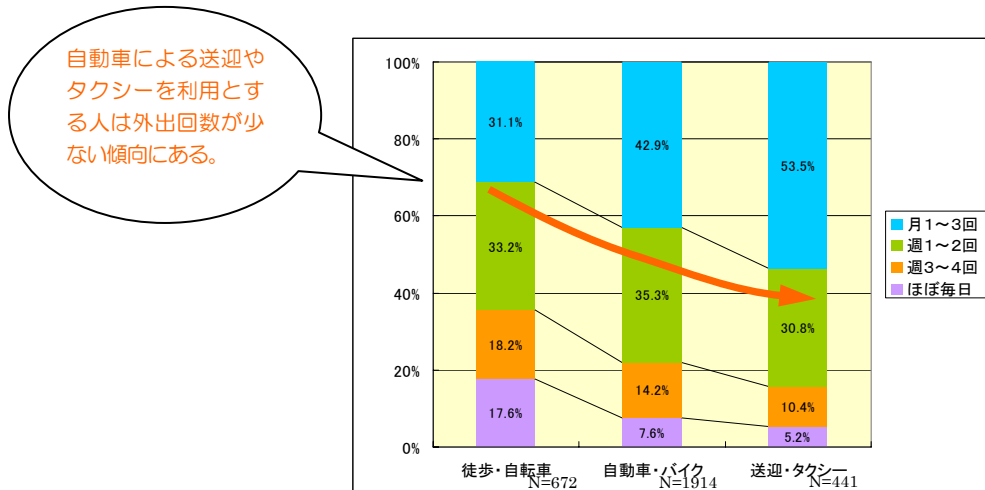


図 年代別にみた田原本町内で移動手段(通勤・通学目的以外)



※住民アンケート調査結果より

図 移動手段別の通院目的外出者数



※住民アンケート調査結果より

図 移動手段別の外出回数(回答割合)

	(件)	(%)
1. 毎日利用している	44	2.3
2. 週に1回以上は利用している	166	8.8
3. 月1回以上は利用している	218	11.5
4. わずかしか利用していない	622	32.9
5. 全く利用していない	714	37.7
不明・無回答	129	6.8
合計	1893	100.0

※住民アンケート調査結果より

図 田原本駅周辺施設の利用状況

町民の7割が田原本駅周辺の商業施設を「ほとんど利用せず」。田原本駅の周辺では活力低下が問題。



写真: 田原本駅東口の様子

## 4. 連携計画に位置付ける事業概要と事業主体

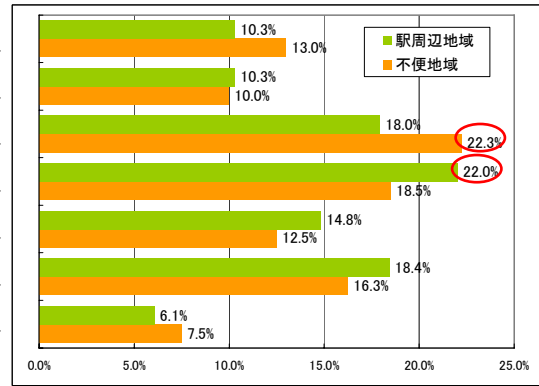
### ①事業名: デマンドタクシーの導入

※住民アンケート調査結果より

〈住民のニーズ〉

田原本町の望ましい公共交通サービスとして、「まちの中心部」や「福祉医療施設」への運行に対するニーズが強い。

周辺市町間の広域的な運行サービス  
 きめ細かく運行する循環型サービス  
 町の中心部を往復するサービス  
 福祉・医療施設中心の運行サービス  
 予約による乗合タクシー型サービス  
 タクシー券等による補助サービス  
 それ以外のサービス



駅周辺地域 N=1,415 駅不便地域 N=400

図 地域別にみた「田原本町にとって必要な公共交通サービス」(回答割合)

利用意向の高い公共交通サービスは「まちの中心部への運行」や「タクシー補助サービス」である。

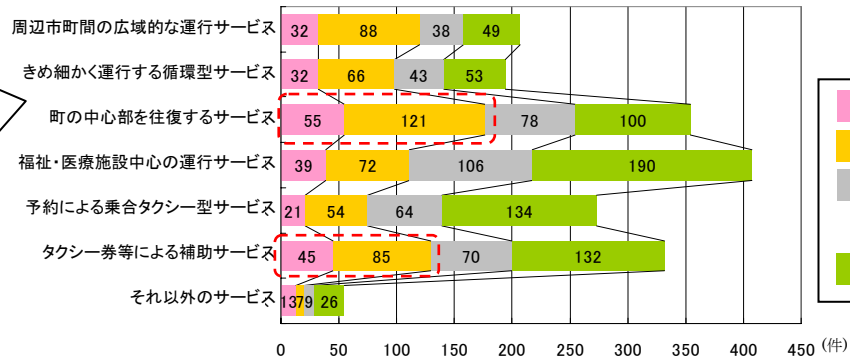
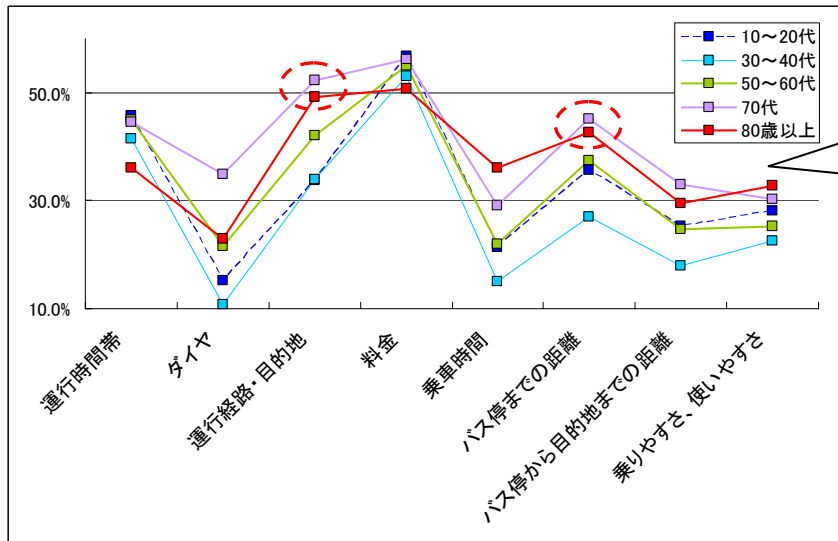


図 新たな公共交通サービスの利用意向



高齢者はサービス内容として「運行目的地」や「バス停までの距離」を重視する傾向にあり。

表 年齢別にみた公共交通サービスの重要項目(回答割合)



〈事業概要〉

事業計画	
事業主体	田原本町商工会
運行主体	西村タクシー株式会社
事業概要	町内各地と田原本駅や町役場等の町の中心部や医療・商業施設等とを結ぶ新たなデマンドタクシーを運行する。
運行エリア	田原本町
運行車両	中型タクシー
停留所	各集落の大きさに応じて1～2箇所程度設置(集会所等)
目的地	商業施設, 医療施設, 公共施設, 町内の鉄道駅等
運行方法	予約による時間固定型。運行予約者が乗り合いにより, 設定目的地まで往復運行。路線は特定せず, 予約者の乗車位置をもとに運転手が判断。
運行日	平日(土日祝は運休)
運行時間帯・ダイヤ	9時～16時台, 毎0分に中心部を出発
料金	大人:300円, 小人:150円(小学生以下), 3歳未満無料 ※障がい者・駅前商店街利用者等の割引を実施。
利用対象者	田原本町民で1人でタクシーに乗り降りできる方(小学生未満は保護者同伴)
予約方法	利用者は事前に登録の申請を行い, 登録者のみが予約可能
配車システム	タクシー事業者の既存システムを活用
実施時期	平成22年8月(予定)～平成24年度

決められた時間において町内を需要(予約)に応じて運行。運行経路は特定しない。

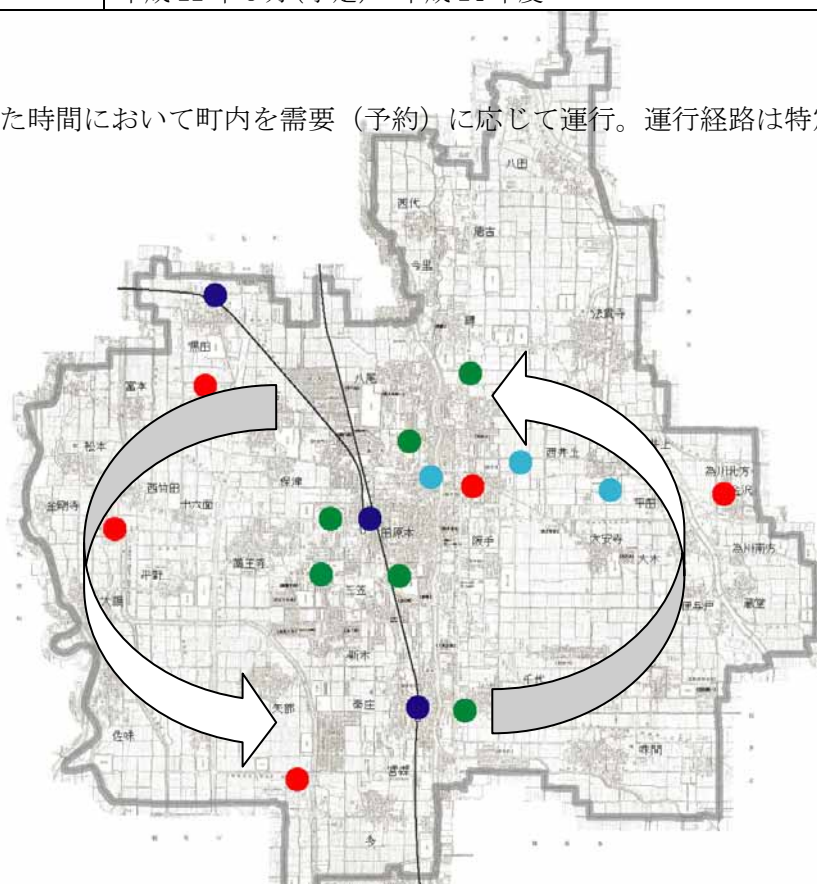


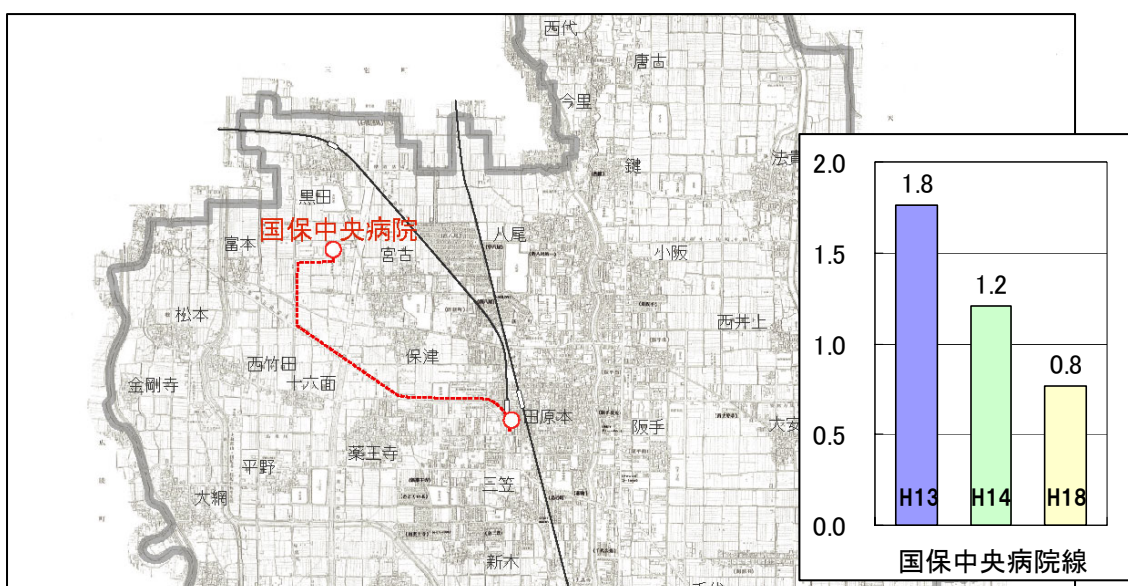
図 運行イメージと主な運行目的地

## ②事業名:観光地巡りを支援する交通サービスの導入

事業計画	
事業主体	田原本町地域公共交通活性化協議会
運行主体	タクシー事業者
事業概要	町内にある古代～近世の遺跡、神社仏閣等の観光地巡りを支援する乗合型の交通サービスを運行する。
運行区間	田原本駅を起点に唐古・鍵遺跡、多神社、鏡作神社、桃太郎生誕地等の町内の遺跡・神社仏閣を結ぶ路線
運行車両	中型タクシー
運行日	土日祝
実施時期	平成 22 年度～平成 24 年度

## ③事業名:国保中央病院線の輸送効率化

事業計画	
事業主体	奈良交通
運行主体	奈良交通
事業概要	町内唯一のバス路線である国保中央病院線の輸送効率化(経費削減)を図る方策として、現在の需要(0.8 人/台)に応じた車両サイズに切り換える。また、西田原本駅～国保中央病院のバス停間において、バス停の新設や集落内の運行によって、病院送迎以外の需要の対応を図る。
運行区間	国保中央病院線(西田原本駅～国保中央病院)
運行車両	ワンボックス車等の小型車両
料金・ダイヤ	現行の料金・ダイヤを踏まえ、状況に応じて見直しを図る。
実施時期	平成 22 年度～平成 24 年度



路線別運行本数と一便あたりの平均乗車人数

図 国保中央病院線



#### ④事業名:公共交通利用促進に向けた情報提供・PRの実施

事業計画	
事業主体	田原本町地域公共交通活性化協議会
事業概要	公共交通の基本情報やお得情報、目的地に関する情報など公共交通の利用促進に寄与する情報をお出かけマップや広報誌等を通じて総合的かつ戦略的に情報提供する。また、新たに整備される田原本駅西口の駅前広場を活用して、公共交通の利用促進にかかる取り組みを行う。
提供媒体	ホームページ、広報誌、チラシ等
提供内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の基本情報(ダイヤ・運賃等)</li> <li>公共交通のお得情報(割引施策)</li> <li>対住民向け目的地情報(駅前商店、町開催のイベントなど)</li> <li>対観光客向け(遺跡、観光地、神社仏閣など)</li> </ul>
対象者	田原本町民、来訪者
実施時期	平成22年度～平成24年度



公共交通の基本情報(ダイヤ・のりば・お得情報等)に加えて目的地情報(施設情報等)を記載したもの。

図 お出かけマップの例

## 5. 計画期間

平成22年度～平成24年度

## 6. その他

(地域公共交通会議等の経緯)

年 月 日	概 要
平成 21 年 3 月 23 日	田原本町地域公共交通活性化協議会の設置
平成 21 年 5 月 20 日	第 1 回田原本町地域公共交通活性化協議会 ・事業の実施方針等について承認
平成 20 年 6 月 23 日	公共交通活性化検討委員会、駅前活性化検討委員会の設置 ・協議会の事業を推進・サポートし、各テーマにおける課題抽出やソフト施策の検討などにおいて、より専門的な観点から検討することを目的として設置した。
平成 21 年 6 月 23 日	第 1 回田原本町公共交通活性化検討委員会 第 1 回田原本町駅前活性化検討委員会 (合同委員会) ・調査の進め方等について協議
平成 20 年 8 月～9 月	商店街アンケート調査の実施 ・駅前商店街に立地する営業店舗に対して、経営の実態や駅周辺地域の活性化に向けた課題等を把握するために実施
平成 20 年 10 月 ～11 月	住民アンケート調査の実施 ・町民を対象に、自動車や公共交通の利用実態及び公共交通やまちづくりに対するニーズを把握するために実施
平成 21 年 12 月 15 日	第 2 回田原本町駅前活性化検討委員会 ・アンケート調査結果の報告 (駅前活性化の観点からみた課題抽出やニーズ等) ・駅を中心としたまちづくりの方向性について協議
平成 22 年 1 月 15 日	第 2 回田原本町公共交通活性化検討委員会 ・アンケート調査結果の報告 (公共交通活性化の観点からみた課題抽出やニーズ等) ・新たな公共交通サービスの方向性について協議
平成 22 年 2 月 12 日	委員ヒアリング調査 ・駅前活性化と新たな公共交通のあり方に関するヒアリングを実施
平成 22 年 2 月 12 日	第 3 回田原本町駅前活性化検討委員会 ・駅を中心としたまちづくりの方向性と具体的施策について協議
平成 22 年 2 月 23 日	第 3 回田原本町公共交通活性化検討委員会 ・新たな公共交通 (デマンド運行サービス) について協議 ・その他の公共交通活性化施策について協議
平成 21 年 3 月 23 日	第 2 回田原本町地域公共交通活性化協議会 ・法定計画案の承認

## 田原本町地域公共交通活性化協議会 委員名簿

	氏名	所属	肩書	
1	森 口 淳	田原本町	副町長	法第6条第2項第1号の委員
2	中 島 昭 司	田原本町総務部	部長	
3	石 本 孝 男	田原本町総務部	参事	
4	松 田 明	田原本町住民福祉部	部長	
5	森 島 庸 光	田原本町産業建設部	部長	
6	江 川 武 史	近畿日本鉄道(株) 鉄道事業本部 企画統括部	計画部長	法第6条第2項第2号の委員
7	梅 谷 裕 規	奈良交通(株) 自動車事業本部	取締役乗合バス事業部長	
8	岩 橋 宣 禎	奈良県タクシー協会	専務理事	
9	葛 本 真	奈良県タクシー協会磯城郡支部	代表	
10	西 本 光 良	社団法人奈良県バス協会	専務理事	
11	佃 寿 己	奈良県交通運輸産業労働組合協議会	事務局長	法第6条第2項第3号の委員
12	山 中 悌二郎	田原本町自治連合会	会長	
13	山 田 至 完	田原本町商工会	会長	
14	鈴 木 幸 兵	田原本町観光協会	会長	
15	小 松 三代治	田原本町老人クラブ連合会	会長	
16	北 浦 佐多子	田原本町地域婦人団体 連絡協議会	会長	
17	中 西 秀 和	田原本駅西第一地区市街地 再開発準備組合	理事長	
18	上 田 恒 夫	国保中央病院	事務長	
19	滝 本 南 北	国土交通省近畿運輸局 奈良運輸支局	支局長	
20	林 功	奈良県土木部道路・交通環境課	課長	
21	岡 本 清 介	奈良県桜井土木事務所	所長	
22	宮 本 安 男	田原本警察署	署長	